

2024 年度懇話会報告

懇話会名 機械の音と振動研究懇話会
代表者名 宇津野秀夫
委員数 49 名
集会回数 3 回
設置年月日 平成 5 年 7 月

I 研究会活動

今年度は平年通り 3 回の懇話会活動を行った。

- 第82回懇話会 (2024年3月23日) 「元トヨタ自動車 城戸様の特別講演会」
講演者 城戸一郎(元 トヨタ自動車)
講演題目 『自動車振動騒音の机上評価技術と分析技術』
講演会場 関西大学 第4学舎3号館3202教室
講演方式 ハイブリッド方式 参加者 37 名(現地参加 6 名, zoom 参加 31 名)
- 第83回懇話会 (2024年10月5日) 若手研究交流会 (振動談話会との共催企画)
三菱電機 先端技術総合研究所 参加者 26名
研究発表セッション, 自己紹介セッション, シーズ紹介セッション
特別講演 「弾性波制御のための繊維-樹脂複合材構造の3Dプリンティング」
講師: 愛媛大学 工学部 機械工学科 水上 孝一 教授
- 第 84 回懇話会 (2024 年 10 月 26 日) 参加者 58 名
第25回秋季技術交流フォーラム 京都大学 吉田キャンパス
「空力騒音の数値解析と音響自励現象の最新の研究動向」 [座長 宇津野秀夫 (関西大)]
9 : 50 ~ 10 : 50 【基調講演】 「音響自励現象の発生機構について」
宇津野秀夫 (関西大)
11 : 00 ~ 12 : 00 【基調講演】 「数値解析による空力騒音の予測 ~現状と将来展望~」
加藤千幸 (日本大, 東京大学名誉教授, 日本機械学会第100期会長)

ご参考 (予定)

- 第 85 回懇話会 (2025 年 3 月 15 日 予定) 特別講演会
講演者 河村庄造 (豊橋技術科学大学)
講演題目 『研究テーマを発掘するのは難しい〜一足早い最終講義〜』
講演方式 リモート講演方式
講演概要

私は1988年3月に名古屋大学博士後期課程を修了し, 17年間, 神戸大学でお世話になりました。その後21年間, 豊橋技術科学大学で教育・研究に従事し, 退職まで残り一年です。その間, 振動工学を基礎とした様々な研究を行ってきました。本講演では, 私自身の研究テーマの変遷や関連性を概観し, いくつかのテーマについて紹介します。特に「そのテーマを考えた背景やきっかけ」などについてお話ししたいと思います。なお一部は振動談話会第400回記念誌に掲載した内容と重複します。そして最後に「(主に大学の) 若手研究者へのメッセージと年配研究者 (若手研究者の上司) へのお願い」を発信したいと思います。

II その他の活動

振動, 騒音に関する講習会の講師派遣, 第 100 期定時総会講演会の企画を支援した。

以上